

2022年2月18日

農業生産法人 株式会社ミヤモトオレンジガーデン

幻の柑橘 愛媛県オリジナル品種：媛小春(ひめこはる)で県内最大規模の生産量を実現

2022年2月2日、ミヤモトオレンジガーデンは、自社園地において「媛小春(ひめこはる)」の収穫をスタートしました。栽培開始から約5年目の今年度から収穫を開始し、県内最大規模の生産量を実現しました。今後、品質改善に努めて、さらに栽培規模を拡大し、媛小春の産地化を目指して取り組んで参ります。

媛小春は、愛媛県が開発した品種で、1994年に愛媛県立果樹試験場(松山市)において、「清見」に「黄金柑」を交配し、その後、2007年に育成を完了した品種で、2008年に品種登録されました。紅まどんな(愛媛果試28号)、甘平に続く、愛媛県オリジナル品種ですが、栽培が難しく生産量が非常に少ないため(※)、幻の柑橘とされています。特徴は、みかんのようには剥きやすく、非常に甘くてジューシーです。愛媛から小さな春の訪れを知らせる希望の柑橘です。

販売は、地元の百貨店様をはじめ、県外の高級果物店様、[自社EC販売サイト](#)にて行います。

※令和元年度の県内生産量は4.1t(JA以外も含む、愛媛県HPかんきつ類の統計より)です。



私たちは革新的な農業経営で、たくさんの喜びと新しい価値を創造します。

今後も引き続き、世界最高品質のみかんを目指して、おいしく、安心安全、高品位・高付加価値のみかんづくりを研究・実践し続けます。また、グローバルGAPおよびASIA GAPへの取り組みを通じてSDGs・持続可能な農業を実現し、GAP普及に向けた支援を積極的に行い、地域貢献、および農業界の発展に尽力いたします。

以上